

中学校給食公開アンケート回答 古谷 義幸 氏

1. 秦野市の中学校完全給食について市長に立候補した際は、「任期中に実施を決定する」ことを公約としますか。



はい



いいえ



どちらとも言えない

2. 秦野市の中学校完全給食を実施する場合、検討対象とする方式をすべて選んでください。



自校方式



センター方式



親子方式



デリバリー方式



その他の方式（どのようなものか下欄に記載してください）

3. 秦野市で中学校完全給食を実施にすることにより複数の影響があると思いますが、あなたが考える優先したい（こういう給食にしたい）点を3つ挙げてください。

- ・温かくおいしい給食の提供
- ・栄養バランスの良い、子供たちに喜ばれる給食の提供
- ・地場産物を活用した安全安心な給食の提供

4. 中学校完全給食を実施するにあたり予算をどうするか、また行程や実施時期など具体的に考えている点がありましたら記載してください。

今後、中学校給食の実施に向けた検討会等を立ち上げ、実施の方式、時期や経費等について検討していきます。特に経費については、多額の予算が新たに必要になりますので、現職の市長として収入や支出の状況もよく判断した上で、早期実現を図ってまいります。

5. その他、子育て世代に向けて実現をしたいと考える政策がありましたら3つまでお書きください。

- ・小児医療費の助成を中学校3年生までに拡大
- ・待機児童ゼロの実現
- ・安心して妊娠、出産できる環境づくり

6. 子育て世代に限らず秦野市としてどのような市になって欲しいと思いますか。

- ・丹沢の恵みによる、水や緑が豊かな環境、充実した鉄道や幹線道路網などの交通環境を生かした「チカイナカ」という秦野市の魅力を生かしたまち。
- ・ものづくりが盛んで、企業活動や雇用の場がしっかりと確保されているまち
- ・市民、企業、学校など様々な主体がそれぞれが活躍、連携するまち
- ・子どもから高齢者まで、市民みんなが生き生きと暮らせるまち

7. 問6を実現するにあたって具体的に考えている政策がありましたらご記入ください。

- ・まちの根幹となる防災・減災への取り組みを充実
- ・新東名高速道路の開通に合わせた企業誘致などによる産業活性化、観光の周遊性の向上
- ・市内4駅の利便性を向上し、駅を中心としたまちの賑わいの創出
- ・国道246号バイパスの一部事業化を実現、引き続き全線事業化に向けた働きかけの実施
- ・民間企業、大学、他自治体など多様な主体との連携を強化
- ・多様なニーズにあわせた住宅施策
- ・高齢者や障害者が地域で活躍し、共に生活する環境づくり

8. 市民に一言お願いします。

秦野市政の旗振り役として、福祉増進、教育環境向上、都市基盤の整備などを進める中で、秦野市の特性を大切にしながら、市民の皆様に「秦野に住んでよかった」と感じていただける「まちづくり」に引き続き全力で取り組んでまいります。